

お手入れ時の注意事項

商品を長くお使いいただくため、本書に従ってこまめにお手入れを行ってください。
お手入れせずに放置すると、表面に付着した汚れが、しみや腐食の原因となり、他の不具合につながる場合があります。特に海岸地域や交通量の多い道路沿いは、塩分や排気ガスの影響により、しみや腐食が進みやすくなります。

第2章

お手入れ

お願い

【薬品への配慮】

お手入れの際、有機溶剤（シンナー、ベンジン、アセトンなど）を使用しないでください。有機溶剤が付着すると、ひび割れやはがれなどが発生するおそれがあります。

お手入れの際、塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）やエチルアルコールを使用しないでください。
表面に付着すると変色するおそれがあります。
付着した場合はすみやかに洗い落としてください。



【キズへの配慮】

たわしや金属たわしなどは、絶対に使用しないでください。
商品にキズがつくおそれがあります。

布やスポンジに砂などが付着したままふき掃除をしないでください。
商品にキズがつくおそれがあります。

お願い

外装材は、年に1～2回、水洗いを行ってください。
特に工業地帯や海岸地域などの汚れがひどくなりやすい地域はさらにこまめにお手入れしてください。
また、軒下やひさしの下など、塵などが付着しやすい部分は、付着した塵などが原因で、腐食（点食）が発生するおそれがあります。

海岸地帯………1～4回／年 工業地帯………1～3回／年
市街地………0.5～2回／年 田園地帯………0.5～1回／年
軒下やひさしの下………2～3回／年

お手入れの際は、中性洗剤をご使用ください。
酸性またはアルカリ性の洗剤をご使用になると、腐食や変色などの原因となります。

洗剤などを使用する際は、外装材の端部など、目立たない位置で効果を確認したうえで、全体の清掃を行ってください。

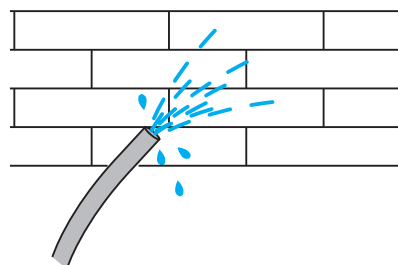
■通常のお手入れ

1 表面のホコリ・砂を落とす

壁面に水をかけて、表面についたホコリ・砂などを洗い落とします。

お願い

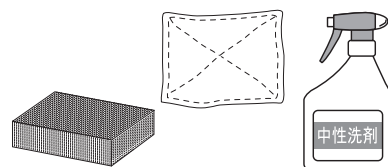
- ホースなどで水をかけて掃除をする際、近くにある窓やドアなどの開口部に勢いよく水をかけないようにご注意ください。室内側に水が入るおそれがあります。



2 汚れを落とす

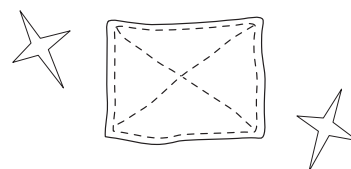
柔らかい布またはスポンジで汚れを落とし、水で洗い流します。

※水洗いで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い流します。



3 水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。

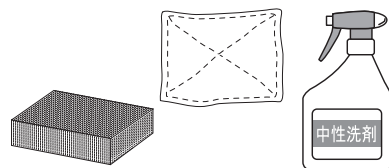


■表面塗膜のすりキズ、かきキズの補修

1

補修箇所の汚れを落とす

柔らかい布またはスポンジに中性洗剤を含ませ、補修部分についた汚れを落とします。



2

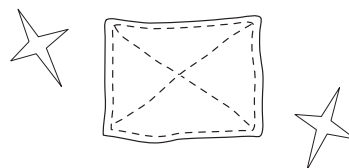
水洗いする

洗剤を水で流します。

3

水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



4

補修する

補修塗料で補修します。

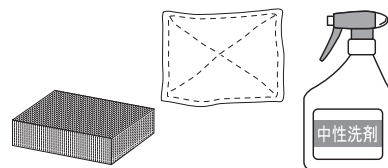
※補修塗料は必ずYKK APの純正品をご使用ください。
(塗料に記載されている注意事項を必ずお読みになった後お使いください)

※専用の補修塗料については、当社お客様相談室まで、お問い合わせください。

■雨垂れやカビなどの汚れのお手入れ

1 汚れをふき取る

柔らかい布またはスポンジに中性洗剤を含ませ、汚れをふき取ります。

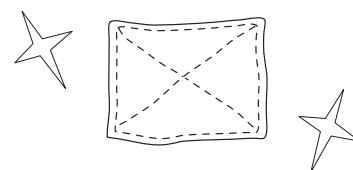


2 水洗いする

洗剤を水で流します。

3 水分をふき取る

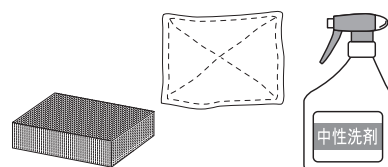
乾いた布で、十分に水分をふき取ります。



■指紋や油などの汚れのお手入れ

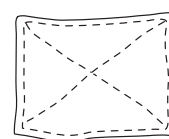
1 汚れをふき取る

柔らかい布に、水またはお湯で薄めた中性洗剤（1～2%の水溶液）を浸し、汚れをふき取ります。



2 水ぶきする

柔らかい布で水ぶきします。



3 水分をふき取る

乾いた布で、十分に水分をふき取ります。

